

紀北分院外来診療医担当表

		月		火		水		木		金	
		AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
総合診療	2診		総合診療 廣西	呼吸器 永井	総合診療(循環器) 羽野	総合診療 廣西				総合診療(循環器) 羽野	
	3診	糖尿外来 河井		糖尿外来 河井		泌尿器外来 倉本 (第2・4週)	肝臓 佐藤 ※再診のみ	リウマチ・膠原病		消化器 川口	
	4診		皮膚科 神人 (第1・3・5週) 田端 (第2・4週)	脳神経内科 梶本		脳神経内科 梶本			皮膚科 酒井	認知症センター 梶本	
	新患5診	永井		川口		応援医師		野田		田中	
	外科診								櫻井 【第3週を除く】		
脳外	6診				上野 【第1週】						
整形外科	7診	整形外科 前田		整形外科 中川	足の専門外来 浅井 (奇数週)	整形外科 太地		整形外科 佐々木		整形外科 中川	
	8診	整形外科 南野		整形外科 佐々木		整形外科 南野		整形外科 太地		整形外科 前田	
眼科	1診	中田		岡田	安田 岩西 西 (第1週) (第2週) (第3週) 維賢 鈴木 (第4週)	中田	子ども外来 石川	小門	山本	岡田	術前外来
	2診			黄斑外来 小門	山本			中田		小門	
小児科		青柳		樋口		青柳		青柳		青柳	
リハビリテーション科		石田		石田		石田		石田		石田	
		天ヶ瀬			天ヶ瀬	天ヶ瀬		天ヶ瀬		天ヶ瀬	

診察受付 月曜日～金曜日：8時45分～ 再診で予約のある方は指定時間（予約表の記載時間）

*当院は原則すべての診療科で予約制となりますので、来院前に予約センターへ電話での予約をお願いします。

紀北分院 予約センター（受付時間 8時45分～15時）

TEL 0736-22-4600

紀北分院 認知症疾患医療センター 診療予約・介護相談（受付時間 9時～17時）

TEL 0736-26-3004

最新の情報は紀北分院ホームページにも記載しています。



2024年5月1日現在



あじさい

vol.47
2024

分院長就任のご挨拶

2024年4月1日から紀北分院長に就任した、岡田由香です。2021年7月に紀北分院に眼科教授として赴任して以降、これまで行ってきた白内障手術だけでなく、緑内障や網膜剥離、斜視などの診療と手術ができるようにシステムを変えてきました。今まで和歌山市や大阪に行かなければ治療できなかった疾患が紀北分院で治療できるようになりました。

私は有田市出身で、耐久高校から、和歌山医大に行き、卒業後も紀北分院に赴任するまでずっと和歌山医大の本院で勤務してまいりました。和歌山医大しか知らない生粋の和歌山県民ですので、もちろん紀北地方のことも大好きです。

今後は眼科だけでなく分院全体で紀北地方の医療を発展させ、地域の方々の健康を守っていくのを使命と考え、全力で分院長としての業務に携わっていく所存です。分院のスタッフ一丸となって、紀北地域の患者さんが安心して受診していただける病院を作っていこうと考えています。よろしくお願いします。



分院長
岡田 由香

■ 新棟 完成予想図



新棟 外観



新棟 リハビリテーション科

現在工事中の新棟の完成予想図です。リハビリ訓練スペースがこれまで以上に広くなり、広々とした空間で快適に、より多くの方にリハビリテーションを受けていただけるようになります。

【掲載内容】

- 分院長就任のご挨拶
- 新棟 完成予想図
- 着任のご挨拶
- 看護の日
- 紀北健康講座・健康出前講座について
- 新任ドクター紹介
- 外来診療医担当表
- かるて師匠の健康高座



「かるて師匠の健康高座」

紀子：前に先生が言っていた、認知症の新しい薬が発売されたんですね。

可流亭：アルツハイマー病で脳に蓄積する、アミロイドという物質を除去するレカナマブという薬のことだね。

紀子：じゃあ、認知症が治るようになったってこと？

可流亭：残念ながら、まだまだ完全に治す薬とは言えないし、発売されたばかりでいろいろ注意点もあるんだよ。

紀子：なるほど。どんなことが注意点なんですか？

可流亭：まず認知症の中でも、アルツハイマー病だけに使える薬で、レビー小体型認知症とか、脳卒中や動脈硬化に伴う認知症には使えないことになっている。

紀子：なるほど。他には？

可流亭：さっきも言ったように、レカナマブを使うとアルツハイマー病の進行がある程度遅くはなるけれど、病気が治ってしまうわけではないので、注意が必要だね。

紀子：薬の副作用はあるんですか？

可流亭：この薬は二週間に一度注射するんだけど、注射したあとで予防接種のあとみたいな頭痛、寒気、発熱、吐き気などがあることがあるそう。これは副作用というよ

りコロナの予防接種のときにはやった副反応と言うべきかな。これらは注射をやっているうちに軽くなるそうだよ。あと、脳が腫れたり、小さな出血がおこることがあって、これはアミロイドを除去するときに、脳が炎症を起こすためだと考えられてます。重症になることは少ないようだけど、ある程度の頻度で生じるので定期的にMRIを撮影して、異常がないか確認する必要があります。

紀子：治療費はどのくらいかかるんですか？

可流亭：保険を使わないと、月額三十三万円かかります。一割負担だと三万三千元ということになるから、かなり高い薬です。ただ、高額療養費制度という制度があって、例えば年収が三百七十万円以下で七十歳以上の方だと月額で十四万四千円まで治療費を抑えられるようになってます。

紀子：なるほど。使える認知症がアルツハイマー病だけだということと、ある程度遅らせるだけで治す薬ではないこと、副反応や副作用も知っておかないといけないし、治療費のことも重要ですね。



内科教授 廣西昌也

【分院長交代のお知らせ】

このたび、令和6年4月1日をもって、廣西昌也教授に代わって岡田由香教授が分院長に就任することとなりましたので、お知らせいたします。

地域に貢献できる病院として一層努力してまいりますので、今後とも当院の運営にご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院

〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺219

TEL / 0736-22-0066(代) FAX / 0736-22-2579

ホームページURL ▶ <http://www.wakayama-med.ac.jp/med/bun-in/index.html>

紀北分院 ホームページ ▶



紀北分院広報誌「あじさい」バックナンバー ▶



2024年6月発行

■ 着任のご挨拶



眼 科
助教／中田 元子
診察日：月、水、木

令和6年4月より紀北分院眼科へ赴任いたしました中田元子（なかたもとこ）と申します。

今までは、海南医療センターで白内障手術を中心に診療させていただいていました。

今回、ご高齢の方に多い白内障とドライアイ（かわき眼）についてお話させていただきます。

高齢の方がかすみを自覚すると、多くの方がご自分は白内障では無いか？と思われるので、眼科を受診されます。しかし、ドライアイが原因でかすんで見える方が一定数いらっしゃいます。眼が乾くとどうして見えにくいのでしょうか？

眼の表面は涙で常に潤った状態になっています。上まぶたの外側にある涙腺で涙が作られ、眼の表面を潤して目頭から涙道を通して鼻へ流れて行きます。この涙液が不足した状態がドライアイです。涙は、正常であれば角膜の上にきれいに層を作っています。

涙が不足していると表面が凸凹した状態になり、きれいな層を作りません。そのため光がまっすぐに眼の中へ入らないため見えにくくなります。

また、他に、白内障手術時に消毒薬で眼の表面を消毒しますが、その影響でドライアイがしばらく悪化することもあります。

適宜、点眼薬を使用することで改善することが多いのでかすみ目を自覚したら、一度眼科を受診いただくことをお勧めいたします。



内 科
助教／田中 克典
診察日：木

令和6年4月1日より紀北分院に赴任しました田中克典（たなかかつのり）と申します。

2015年10月からリウマチ・膠原病科として、それ以前は皮膚科として主に和歌山県立医科大学附属病院で勤務していました。紀北分院では今まで非常勤医として月1回の外来だけをしていましたが、4月からは常勤医として入院担当もしています。

膠原病とは1942年にアメリカで初めて提唱された病気概念です。当初は肺や腎臓といった特定の臓器に由来せず、また感染症や中毒・腫瘍といったそれまで考えられていた分類のいずれにも適合しない病気の中で、臓器と臓器の間を埋めている血管や結合組織に炎症が起こるものとして定義されました。今日ではこの定義はもう古く、これに合致しない病気であっても膠原病の一部と分類されるようになっていたため、この名前は必ずしも正確にその性質を表したものではありませんが、日本では今のところこの名前がそのまま使われています。

膠原病はあまり日常的に目にすることがない珍しい漢字が用いられているということもあり、それがどのような病気であるのかがイメージしにくく、現代においても『良く分からない怖い病気』と思われがちです。人によっては膠原病と聞くと不治の病であるとか、あるいは末期癌にも匹敵するような命に関わる怖い病気という印象を持っていることもあるかと思います。実際、1973年から連載されていた手塚治虫の漫画『ブラック・ジャック』でも作中に膠原病の一種が登場していますが、当時の医療技術ではどうしても不治の病として描かれていました。

しかし、手塚治虫の時代と比べて医学が格段に進歩した現代においては、膠原病もその多くが分からない病気ではなくなっています。近年登場した新しい治療法の数々によって、多くの膠原病患者さんが最低限の薬を使い続けるだけで何ら支障なく日常生活を送ることができるようになりました。また、病気の解明が進むと同時に検査技術も進歩し、より症状の軽い段階で・より早く・より正確に診断ができるようになったため、結果的に潜在的な患者の見逃しが減り、膠原病も昔のイメージほど珍しい病気というわけでもなくなりました。例えば、膠原病の中で最多の患者数である関節リウマチであれば、現代の国内における推定患者数は大体80万人程度と推測されており、これはつまり人口150人あたりに1人は居る病気ということになります。

和歌山県は日本全国から見てもとりわけ膠原病を専門とする医師が不足している地域であり、症状があっても膠原病と診断できる医師が居なかったために見逃されていた患者さんが相当数居るものと思われます。これまでは月1回しか外来ができませんでしたが今年からは毎週になり、外来の診察枠も4倍に余裕ができました。何か気になる症状などあればお気軽にご相談頂けると幸いです。よろしくお願い申し上げます。

■ 看護の日(5月12日)

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日は「看護の日」と制定されました。当院でも看護週間を定め、5月7日から一週間イベントを行いました。

院内の専門チーム（NST・褥瘡対策、糖尿病サポート、骨粗鬆症、認知症サポート、緩和ケア・療養生活サポート）での看護活動をまとめたパンフレットや、各種栄養指導パンフレット・サンプルの配布、看護相談を行いました。看護相談では、血圧を測定しながら、持病や生活上の困りごとなどの相談を受けつけました。また、骨の状態が気になる方には、骨粗鬆症セルフチェックで骨の状態を確認しました。来院者の多くが足を止め、パンフレットを手にするなど、関心の高さがうかがえました。



■ 紀北健康講座・健康出前講座について

今年度も毎月健康講座を開催しています。最近では新聞やテレビの取材もあり、毎回参加いただくりピーターの方も増え、盛り上がってまいりました。今後も人気のあった講座の再開や、全く新しいテーマでの開催などを検討中です。ぜひお気軽にご参加ください。

また、当院の医師や職員が指定の場所で講義を行う、健康出前講座についても、令和6年度のテーマが出そろっています。集会や会合などの際に、ぜひご検討ください。



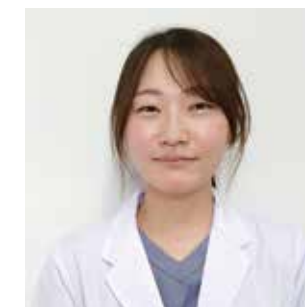
新任ドクター紹介



内 科
ながい たかひろ
学内助教／永井 隆寛
診察日：月、火



整形外科
みなみの かずよし
学内助教／南野 和佳
診察日：月、水



眼 科
やまもと ちか
学内助教／山本 智佳
診察日：火、木



リハビリテーション科
あまがせ わかな
学内助教／天ヶ瀬 わかな
診察日：月～金

よろしくお願いします。